

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 2 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称		J&T環境 株式会社	
事業所の名称		J&T環境 株式会社 プラリサイクル本部 仙台事業部	
事業所の所在地		宮城県仙台市宮城野区港一丁目6番1号	
主たる事業		廃棄物処理業	
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針		当本部は、社会全体での温室効果ガス排出抑制に貢献するため、以下の方針に基づきエネルギー使用量の削減に努めます。 【基本方針】 1.廃棄物の適正処理による温暖化防止への貢献 2.環境マネジメントシステムを適用した省エネルギー、省資源 3.物流関連の省エネルギー、温暖化対策	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	5,607 t-CO ₂	基準原単位	146.4
	目標年度	2025 年度	目標排出量	5,325 t-CO ₂	目標原単位	134.9
			削減率	5.02 %	削減率	7.85 %
		非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	%
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	4,461 t-CO ₂	排出原単位	117.7
			削減率	20.43 %	削減率	19.60 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	36.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由 施設のLED化や機械設備の更新、操業の合理化などにより、電気使用量を削減できた。更に電気事業者の排出係数も減少したことにより温室効果ガスの減少が加速し、排出量および原単位も削減となった。 以上より目標を大きく上回る結果となった。今後も温室効果ガスの削減に努める。					
	第2年度	2024 年度	排出量	3,738 t-CO ₂	排出原単位	101.2
			削減率	33.33 %	削減率	30.87 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	47.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由 処理物の性状変化や設備故障の増加により処理能力が低下してしまい稼働時間が増えた。そのため電気使用量が増加してしまったが電気事業者の排出係数が減少したことにより温室効果ガスの排出量が大きく減少となった。 次年度は操業の安定化を図り、電気使用量自体を減らしてゆくことに努める。					

	第3年度	2025年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	68 %	目標年度	89 %
	第1年度	74 %	実施状況の説明等	各施設のLED化がほぼ完了し、番号24を実施済とした。
	第2年度	74 %	実施状況の説明等	実施状況に変わりなし。 計画し未実施のままとなっている項目については第3年度の達成を目指す。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	生産性管理	実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	外気冷房	実施済
	デマンド管理	実施済
	窓の断熱性向上	実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入	実施済

その他の対策の 実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	J&T環境グループは最新の技術で環境・リサイクル事業を推進し、より良い地球環境の創造に貢献します。	実施済
	環境教育・学習の実施（従業員以外を対象にしたもの）	環境施設を見る会で仙台市民を対象に工場見学を実施。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	受け入れたプラスチック製品包装容器から有用資源を極力回収し、パレットを製造。	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	エコフェスタに参加し地球環境保全への理解を深めるために貢献。	未実施
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	本社主導の地球温暖化対策会議で全国産業廃棄物連合会の業界目標に沿って温室効果ガス排出削減に努めている。	実施済